

自然から受ける放射線の量

日本では、地面や食べ物などの自然から1年間に受けている放射線の量は、一人当たり約1.5ミリシーベルトです。



宇宙から
0.3ミリシーベルト



地面から
0.4ミリシーベルト



空気から
0.6ミリシーベルト



食べ物から
0.2ミリシーベルト

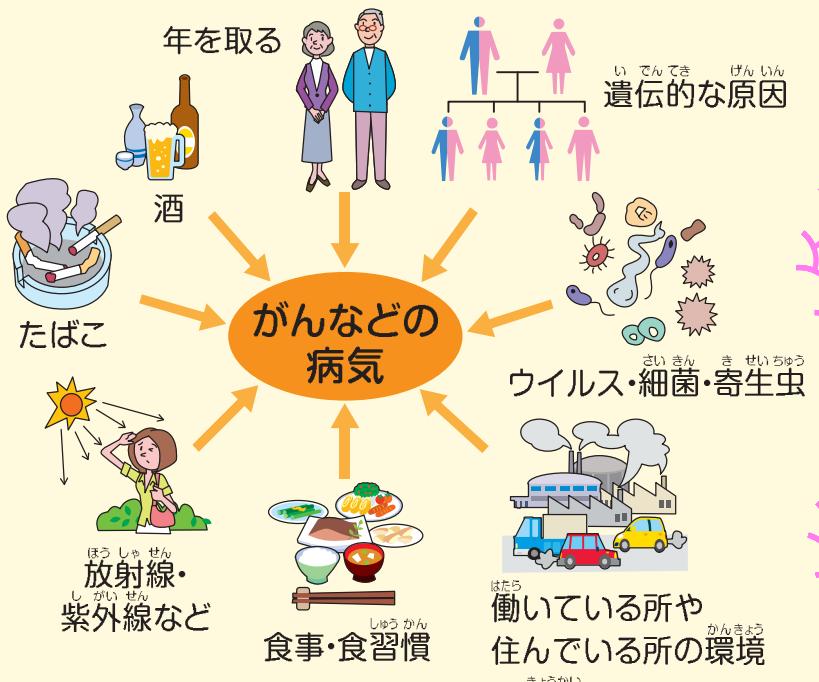
出典:(財)原子力安全研究協会「生活環境放射線」(1992年)より作成

身近に受ける放射線の量と健康

私たちちは、自然にある放射線や病院のエックス線(レントゲン)撮影などによって受ける放射線の量で健康的な暮らしできなくなるようなことを心配する必要はありません。

これまでの研究や調査では、たくさんの放射線を受けるとやけどを負ったりがんなどの病気になったりしたことが確認されていますが、一度に100ミリシーベルト以下の放射線を人体が受けた場合、放射線だけを原因としてがんなどの病気になったという明確な証拠はありません。しかし、がんなどの病気は、色々な原因が重なって起こることもあるため、放射線を受ける量はできるだけ少なくすることが大切です。

◆がんなどの病気を起こす色々な原因



出典:(社)日本アイソトープ協会
「改訂版 放射線のABC」(2011年)などより作成

●●● 考えてみよう ●●●

絵を見て健康的な暮らしのためには、どのようなことに心掛けるとよいか考えてみよう。